

あず"ゆーらいく

うわさ話に気を付けて！

トイレットペーパーが店頭から消えた。そんなニュースは東京の話だと思っていましたが、近所のドラッグストアに行って驚きました。テレビの中の事態が我が町にも起こっていたからです。「残り4ロールあるし、まだ大丈夫」と自分に言い聞かせ、問題なく乗り切りましたが、内心ヒヤヒヤしておりました。

この「トイレットペーパー不足（ではないけれど、みんなが買い急いでしまった）騒動」は、一人のSNSでのつぶやきが発端で、あっという間に全国に広がったというのは周知の事実です。つまりネット上に流れるデマを拡散してしまう人も多かったということですね。

また「息子は難病で人工呼吸器がないと生きられないのに、これに使う精製水がどこにも売っていない」と嘆く母親のツイートが反響を呼んでいるそうです。これはメディアで精製水を使った消毒液の作り方が紹介されたことが原因だとか。

大勢が混乱しているときに冷静になるのは難しいですが、知っておくことで少し立ち止まって考えることができるかも。また善意（悪意）の有無に関わらず、安易なSNS投稿や「いいね」は特定の誰かを誹謗中傷することになるかもしれません。そして誰もがそれらの被害にあう可能性もあるのです。

皆さん、噂話にはお互いに気をつけましょうね。

“災害デマ”はなぜ拡散するのか 「善意」が被害を拡大させる
https://www3.nhk.or.jp/news/special/saigai/select-news/20191219_01.html

ご意見ご希望はこちらへ
学生相談室 gakroom☆office.tut.ac.jp
☆も@にかえてください

